様式１（保育教諭）

資質能力自己評価表（探究・発展期）　　　 学校名[　　　　　　　　　　 　　 ]　　氏名[　　　　　　　　　　]

【評価】　４:よく当てはまる　３:当てはまる　２:あまり当てはまらない　１:当てはまらない ○で囲む

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 資質能力 | 評価項目 | 研修前評価 | 研修後評価 |
| １　豊かな人間性と職務に対する　　　　　　　　　　　　　　　　　　使命感 | 人間理解･人権意識 | 職員の姿が子どもに影響を及ぼすことを理解し、子どもが一人の人間として大切にされていると実感できる環境づくりを心掛けている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な価値観を尊重する態度や幅広い視野・知識を身に付けている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 職務に対する誇りと責任 | 高い倫理観と教職に対する使命感、責任感をもち、教育職員として生涯を通じて学び続け、子ども一人一人の主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 危機管理意識を高め、教育活動における事故･災害等に対して備えたり、事前指導、対応、事後指導を行ったりできるようにしている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| ふるさとを愛する心 | ふるさとを愛し、県や園の所在する地域の特長を理解するとともに、「ふるさと教育」を積極的に行っている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| ２　子どもの発達の支援に対する　　　　　　　　　　　　　　　　　理解と対応 | 生徒指導の推進 | 子どもとの信頼関係づくりに努めるとともに、子ども相互の好ましい人間関係を構築する視点で個に応じた指導や集団指導を積極的に行っている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 園の特色や地域の実情を踏まえつつ、日常的な教育活動を通じて、子どもたちが社会的自立に向けた資質・能力を身に付けられる取組を積極的に行っている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 子どもが、学ぶことと社会とのつながりを意識し、自分らしい生き方を実現するための支援を組織的に行っている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 特別支援教育の推進 | 子どもが主体的に学ぶことのできる保育実践に向け、関係機関等の助言や援助も活用しながら、一人一人の教育的ニーズの把握に努めている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 園内の教職員間で共通理解を図り、園内の支援体制を構築しながら、すべての子どもの学びが保障されるための環境づくりや保育実践に努めている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| ３　職務にかかわる　　　　　　　　専門的知識・技能及び態度 | 教科等の指導に関する専門性 | 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置き、小学校等との接続を意識して発達の各時期にふさわしい生活が展開されるように指導計画を作成し、実践している。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 子どもの主体的な活動を引き出せるよう、教材を工夫したり、その教材や友達との出会いを工夫したりするなどより望ましい環境の構成に努めている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 遊びや生活の見通しをもったり、振り返ったりする場面を大切にし、次の活動への期待や意欲をもつことができるようにしている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 園内研修等を通して、指導の過程を振り返りながら子どもの理解を進め、子ども一人一人のよさや可能性などを把握し、指導の改善に生かすようにしている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| ＩＣＴや情報の利活用 | ICTを活用し、子どもの情報活用能力育成のための計画立案や実践に努めている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 校務の効率化及び子どもの学習や生活の改善を図るため、教育データを適切に活用している。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 社会の変化への対応 | 新たな教育課題等に対応した教育（「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭に置いた小学校等との接続を意識した保育改善、いじめ・不登校等への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用等）の推進に向けて園内で協働して取り組む体制を整え、実践に努めている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| ４　学校組織の一員として　　　考え行動する意欲・能力 | 学校組織マネジメント | 園教育目標や経営方針に基づき、自らが担当する校務分掌に関する計画及び学級経営案を立て、その実現を図るとともに、適宜評価を行い改善に努めている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 組織の一員としての役割を理解し、教師は創造的で魅力ある仕事であることの認識と誇りをもって働いているとともに、働き方改革の実現に向けて積極的に取り組んでいる。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 他者との連携･協働 | 同僚等から学ぶ姿勢をもつとともに、連携・協働して自園の課題解決を図っている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 園内研修や保育研究をはじめとする園における様々な機会や場面において、後進に助言を与えるなどして、園内の人材育成に前向きに取り組んでいる。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| ５　よりよい社会をつくるため　　　　　　　　　　　の意欲・能力 | 地域資源の活用と地域貢献 | 園外の教育資源を教育課程の内容と効果的に組み合わせ、地域住民等と連携・協働して教育活動に取り組んでいる。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 魅力ある園づくりが、魅力ある地域づくりにつながることを理解し、それを地域と共有し、互いに活性化するようにしている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 合意形成に向けた議論の調整・促進 | 魅力ある園づくり（園教育目標の実現）を目指して職員が議論をしたり、協働したりするように働きかけている。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |
| 子どもが集団や自己の生活、人間関係等の課題を解決するために、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりできるような場面を意図的に設定している。 | ４　３　２　１ | ４　３　２　１ |